

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
堺区民文化祭		堺区ふれあい事業実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
自らの文化活動の発表の場として、また地域の文化に直接触れる機会として、区民参加による文化祭を開催することで、地域住民の文化活動を促進するとともに、住民相互の交流と連帯意識の高揚を図ること。	○文化祭を開催することにより区域住民の文化活動を促進する。 ○住民の交流による魅力あるまちづくりの促進に繋げる。	(展示の部)応募者数 (出演の部) 出演者にアンケート(次回も出演したい割合)	秋・71人 春・89人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 本事業は住民の交流によって、魅力あるまちづくりの促進に繋げていく事業である。	◎ 堺区自治連合協議会と堺区役所で構成された堺区ふれあい事業実行委員会が実施主体であるため、区民との協働で実施する事業である。	○ 区民の文化活動を促進し、住民の交流による魅力あるまちづくりに繋げるため、展示の部や出演の部を行い、より多くの区民が参加できる形となっている。	○ 堺区で活動している団体の演奏・舞踊・ダンス等の発表や絵画・工芸等の作品展示及び文化活動の発表として、多くの方が参加していることから、費用対効果が高いと考える。		
⑤自立発展性	総合評価				
ー 文化活動を介して、参加者同士、参加者と入場者が繋がっていくことが期待でき、区民には連帯感の醸成と創造性の育成につながる事ができる事業と考える。区民同士を有機的に結びつける働きを行政が担う必要があるため、区民独自で行うのは難しい。	○ 出演の部・展示の部の双方について参加者、来場者の満足度が高いことから、区民の文化活動の促進に繋がっていると考えられ、区民の文化活動発表を行う場である。この文化祭により、文化活動への意識の高揚を期待できると共に、住民相互扶助力の向上や連帯意識の醸成が図られている。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	これまでの文化祭では、参加者の固定化などが起きており、子どもから大人まで幅広い世代の方に参加してもらい事業にリニューアルする予定である。事業をリニューアルすることで、地域住民の文化活動を促進するとともに、幅広い世代の方々の相互の交流と連帯意識の高揚を図ることを目的とする。				